

○パラオセミナー in Hitachiomiya

- ・日時：2020年（令和2年）1月26日（日） 午後2時00分から午後4時00分
2月1日（土） 午後2時00分から午後4時00分
2月8日（土） 午前10時00分から午後0時00分
- ・場所：道の駅常陸大宮～かわプラザ～ 多目的室（常陸大宮市岩崎717-1）
- ・主催：常陸大宮市

・内容

ホストタウン交流事業の一環として、「もっと深く、もっと身近に、もっと一緒に楽しく太平洋の楽園パラオ共和国を知ろう！」をテーマに、全3回（参加者55名）のパラオセミナーを開催しました。

【第1回：1月26日（日）】

○講師：東洋大学 国際観光学部 准教授 藤稿 亜矢子 氏

○参加者数：21名

第1回目は、東洋大学国際観光学部准教授の藤稿亜矢子先生を講師として、「パラオの魅力を持続可能なものとするために～常陸大宮との共通点を見つけてみましょう～」と題し、講演やワークショップを行いました。

参加者は、パラオが世界複合遺産に登録された経緯やパラオの伝統文化、食文化について学習し、パラオについて理解を深めるとともに、本市の魅力や地域課題についてグループワークを行い、両者の共通点を見い出すことで、今後の交流の可能性について意見交換を行いました。



講師の藤稿亜矢子先生



グループワークの様子

【第2回：2月1日（土）】

○講師：パラオ政府観光局 日本事務所 代表 ^{しばむら つよし} 芝村 剛 氏

○参加者数：16名

第2回目は、パラオ政府観光局日本事務所代表の^{しばむら つよし}芝村 剛 先生を講師として、「パラオの観光」について講演を行いました。

「ジェリーフィッシュレイク」や「ペリリュー島戦跡ツアー」など、パラオの代表的な観光地やツアーについて紹介した後、パラオの歴史や、パラオが世界に先駆けて導入した環境保護・保全に関する取組である“Palau Pledge（パラオ誓約）”の説明をしていただきました。また、パラオでは、今年1月よりサンゴ礁に有害な物質を含んだ日焼け止めの持込を禁止する法律が施行されたことも話され、参加者からは日焼け止めの持込のチェック方法などについての質問もあり、観光だけでなく、美しい自然環境を守るためのパラオの取組について学びました。



講師の芝村剛先生



参加者の様子

🐠🐠🐠パラオセミナーのここに注目！！🐠🐠🐠

全3回行った今回のセミナーは、講師によってテーマが異なることから、会場の中の装飾にもこだわりました。1回目のセミナーでは「自然・文化」をテーマに、2回目は「観光」を中心に、3回目は「人の交流」をテーマとして参加者の皆様を迎えました。皆様に少しでもパラオについて知って、興味・関心を抱いていただくことがねらいです。



第1回



第2回



第3回

【第3回：2月8日（土）】

○講 師：公益社団法人 青年海外協力協会 松岡 洋司 氏

○参加者数：18名

第3回目は、公益社団法人青年海外協力協会の松岡洋司先生を講師として、「パラオプロジェクト」を考えるワークショップを行いました。

まず、グループに分かれ「私が思うパラオの魅力」について発表を行い、その後、「パラオの魅力伝える方法」を考えました。各グループからは、市内の廃校を活用したパラオとの交流・体験スペースの創出やパラオへのツアー造成などについて提案があり、松岡先生からは、「今日皆さんが提案したパラオプロジェクトが実現できるように、市や市民の皆様が協力して取り組んでいきましょう。積極的な皆さんの意見や考え、行動が大事です。」とのお話がありました。



講師の松岡洋司先生



発表の様子

全3回のセミナーを通して、参加者の皆様が、パラオ共和国について知り、興味や関心を抱くだけでなく、本市の魅力を再発見し、また、本市やパラオが抱える身近な課題を認識し、課題解決に向けた考察をする機会となりました。セミナー終了後に実施した参加者アンケートでは、「今回のグループワークで出たことを交流に活かしたら良いと思った。」「知らない事ばかりで、とても参考になりました。」「今後の市とパラオの関係のあり方をよく学ぶことができました。」などの感想をいただきました。

本市では、東京2020大会に向けてさらなる機運醸成を図るとともに、大会終了後においても、パラオ共和国との継続的かつ発展的な友好交流を促進するため、引き続き、多くの方々に本市のホストタウン交流事業に参画できる仕組みづくりを推進していきます。